

# 淡江大學九十一學年度日間部轉學生招生考試試題

系別：日本語文學系三年級

科目：日語翻譯

准帶項目請打「○」否則打「×」
計算機
×

本試題共 / 頁

## 壹、將下列文意譯成中文，並寫出該文意的日文「諺」。(不用抄題、每題翻譯3分、「諺」2分，共30分)

- 一、勝って驕りたかぶる兵は負けること必至である。
- 二、真理からかけ離れた間違った学問を説くことで、世間の評に追従し、社会から注目されるようにすること。
- 三、苦勞して学問をした成果。蛍の光や雪明かりで苦勞して学問にいそしむこと。
- 四、つまずいては転び、起き上がってはまたつまずくことの繰り返し。人生には浮き沈みがつきものである。
- 五、日本固有の精神で魂を鍛える一方、中国伝来の学問で才覚を磨くこと。
- 六、たえずお互いに競争し、激励し合いながら学問や技芸を磨き、徳を高めること。

## 貳、日翻中。(不用抄題、每題10分、共30分)

- 一、田中さんは毎日電車で東京の会社に通っています。会社まで2時間ぐらいかかりますから、朝早く起きなければなりません。電車は行きも帰りもいつも込んでいます。ラッシュの電車に乗るのはほんとうに大変です。会社は5時までです。仕事のあとで、1週間に一回会社の近くのスポーツセンターへ行っています。しかし仕事が忙しいときは、残業しなければなりません。
- 二、日本語を書く時、名詞・動詞・形容詞などは多くは漢字で書き、動詞および形容詞の活用変化の部分や助動詞・助詞は仮名で書く。副詞は漢字でも仮名でも書く。現在は平仮名が広く使われ、片仮名は外来語を表す場合に用いられる。
- 三、日本人の集団重視は過去、第二次世界大戦における玉砕や集団自決の悲劇、一億一心のスローガン、また今日、企業経営、サラリーマン社会などにおける集団の和の重視、果ては学校の生徒の制服に至るまで、広く深く根を張っている。

## 參、抄寫下列試題後，將口文的漢字部分注上「仮名」，並將全文譯成中文。(30分)

- 一、ひとつの言語から他の言語へ翻訳することは、微妙な仕事である。よくいわれているように、翻訳とは一字一字ひきあてて、移して行けば仕上がるようなものではない。時には対応することばすらなく、ひきあてるわけにもゆかないことがある。また、翻訳とは、言語の中にある思想、概念、心情を別の言語体系によって、再創作することである。(漢字仮名3分、翻譯7分)
- 二、「テロ対策特措法(骨子)」。  
 ①「自衛隊の活動」：米軍などの活動を支援。武器・弾薬は、補給や外国領での陸上輸送はできない。  
 ②「活動範囲」：公海上や当該国の同意がある外国領で、戦闘行為が行われておらず、活動期間を通じて行われないと認められる地域。  
 ③「国会の関与」：基本計画に定める自衛隊の活動は、20日以内に国会に付議し、承認を求める。  
 ④「武器の使用」：自分やともに現場にいる自衛隊員、職務に伴い自己の管理の下に入った者を防護するために使用できる。(漢字仮名5分、翻譯15分)

## 肆、中翻日。(不用抄題、10分)

「回顧人類的文明發展史，文明古國宛如馬拉松賽中領先的選手，而文明後進國則彷彿是落後的選手。但不可忘却的是，前者只有維持領先的權利，而並駕齊驅與超越前者，乃是後者的特權。」(10分)